



～未来の愛西のために～  
新・愛西市議18名



# 愛西市

AISAI CITY  
ASSEMBLY

# 議会だより

No.68  
2022.6.1

3  
月  
定  
例  
会

<b>新議会</b>	市民の期待に応え、市の発展のために頑張ります …	2
<b>特集</b>	令和4年度予算 人があつまる愛西市へ ……	4
	議論の中から新発見 ……	6
	一般質問～市政を問う～ ……	10
	<b>イキイキコーナー</b> 募集	
	取材しました！愛西市の偉人 三輪善兵衛 ……	23
	議会広報新メンバー ……	24

# 発展のために頑張ります

去る4月24日に行われた愛西市議会議員選挙で当選した18名の議員の紹介と、5月6日に行われた令和4年第2回愛西市議会臨時会において決まった議会人事についてお知らせします。

本臨時会は愛西市議会議員一般選挙後、初めての議会になります。正副議長選挙や常任委員長等の選任、一部事務組合議会議員の選挙など、議会人事に係る諸案件を決定しました。



副議長  
佐藤 信男



議長  
杉村 義仁

## 正副議長就任あいさつ

市民の皆様におかれましては、日頃から市議会に対しご理解、ご協力を賜り心から深く感謝申し上げます。

令和4年4月24日に行われた愛西市議会議員選挙におきまして、新しく18名の議員が誕生し、5月6日の臨時会において、議員各位のご推挙により、愛西市議会議長及び副議長の職を拝命いたしました。身に余る光栄であるとともに、責任の重大さを痛感しているところでございます。市民の皆様のお力添えをいただきながら、市議会の公平かつ円滑な運営と積極的な議会改革に努め、この職責を全うしてまいります。

本市におきましては、環境・教育・福祉など各分野で取り組むべき課題が山積しております。依然として厳しい財政状況の中、二元代表制の二翼を担う市議会といたしまして、皆様の声を市政に反映させられるよう、執行部との議論を重ね、市民サービスの充実並びに本市の更なる発展に尽力する所存でございます。

本市議会並びに市政への、市民の皆様の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

### 会派別一覧

#### 新生愛西クラブ

近藤 武

原 裕司

鬼頭 勝治

神田 康史

杉村 義仁

佐藤 信男

石崎 誠子

角田 龍仁

中村 文武

佐藤 旭浩

#### 公明党あいさい

高松 幸雄

竹村 仁司

#### 日本共産党愛西市議団

河合 克平

真野 和久

#### 無党派

吉川三津子

山岡 幹雄

馬淵 紀明

山田門左工門

### 監査委員

山岡 幹雄

# 市民の期待に応え、市の



馬淵 紀明



石崎 誠子



山田門左工門



角田 龍仁



中村 文武



佐藤 旭浩



杉村 義仁



高松 幸雄



河合 克平



近藤 武



佐藤 信男



原 裕司



鬼頭 勝治



吉川三津子



真野 和久



山岡 幹雄



竹村 仁司



神田 康史

■ 議会運営委員会  
委員長 近藤 武  
委員 高松 幸雄  
委員 鬼頭 勝治

委員 石崎 誠子  
委員 原 裕司  
委員 河合 克平  
委員 神田 康史

委員 吉川三津子  
委員 真野 和久  
委員 近藤 武  
委員 佐藤 信男  
委員 馬淵 紀明  
委員 佐藤 旭浩

■ 建設福祉委員会  
委員長 原 裕司  
委員 竹村 仁司  
委員 鬼頭 勝治

委員 山岡 幹雄  
委員 神田 康史  
委員 杉村 義仁  
委員 河合 克平  
委員 山田門左工門  
委員 角田 龍仁  
委員 中村 文武

■ 総務文教委員会  
委員長 石崎 誠子  
委員 高松 幸雄  
委員 山岡 幹雄

■ 海部地区水防事務組合 議会議員

馬淵 紀明  
角田 龍仁

■ 海部地区急病診療所 組合議会議員

河合 克平  
中村 文武

■ 海部地区環境事務組合 議会議員

真野 和久  
竹村 仁司

■ 海部南部水道企業団 議会議員

神田 康史  
高松 幸雄  
石崎 誠子  
佐藤 旭浩

■ 一部事務組合議会

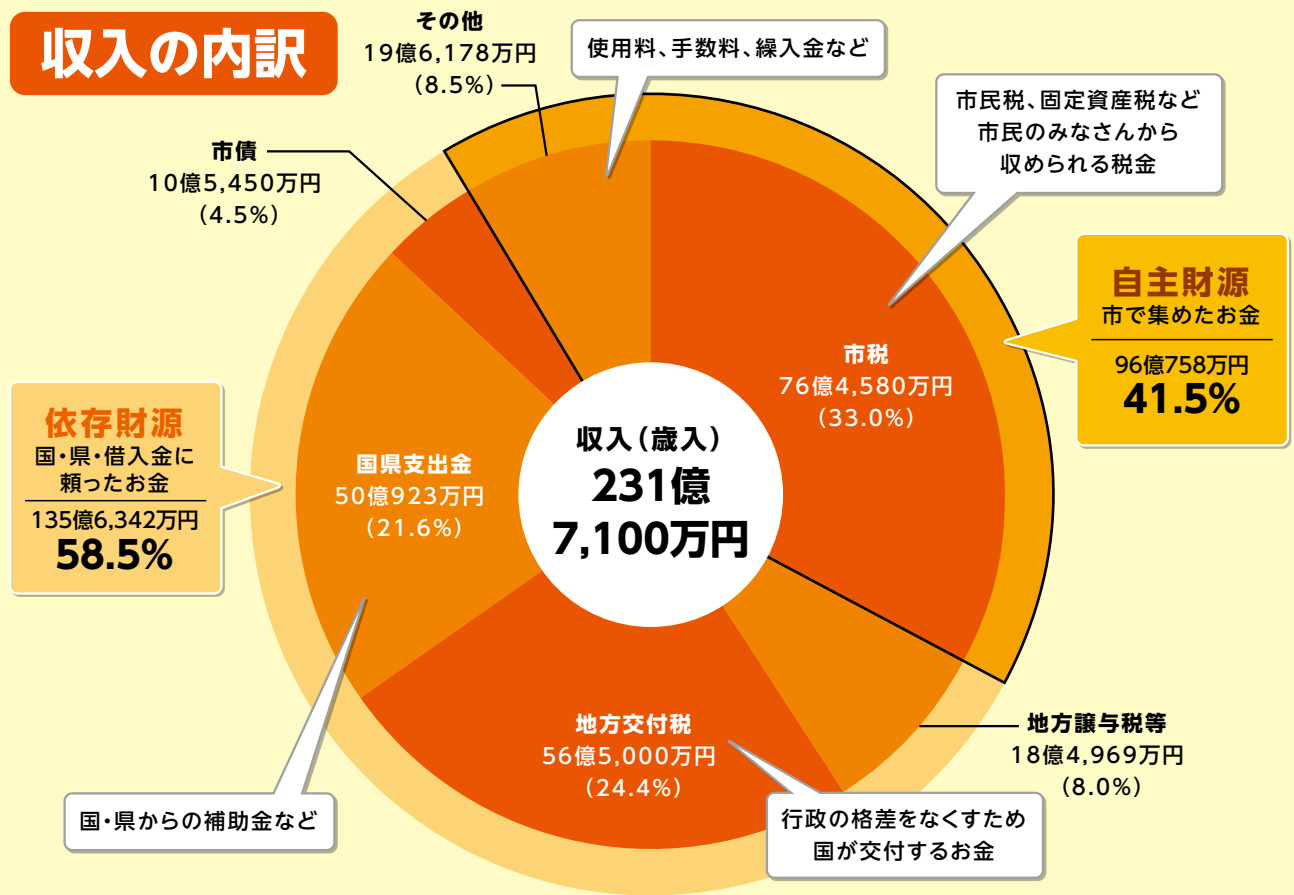
山田門左工門  
中村 文武  
佐藤 旭浩

■ 議会広報特別委員会  
委員長 真野 和久  
副委員長 原 裕司  
委員 高松 幸雄



# 人があつま ～道の駅・都市公

## 収入の内訳



## ● 消防庁舎を改修

(事業費1億2918万9千円)

令和4年度から5年度にかけて、消防庁舎の施設改修により長寿命化を図り、災害に強い庁舎を整備します。

### ● 整備内容は、

**A** 庁舎屋上の防水や外壁塗装等で長寿命化を図る。

**Q** 女性用仮眠室、浴室の整備、仮眠室の個室化する。

## ● その他の事業

・「刈高地区」公園整備事業 (用地・整備)

1億2548万円

・佐屋駅周辺整備事業 (用地)

1421万円

・中学校特別教室空調整備事業

1919万4千円

・新型コロナウイルスワクチン接種事業

2億1168万5千円

・子ども家庭総合支援拠点事業

368万4千円

・発達支援センター事業

3066万5千円

・藤浪駅前広場の再整備によるにぎわい創出事業

859万1千円



▲改修される消防庁舎

# 議論の中から新発見

## 永和保育園民営化 建物を無償譲渡

安定的で良質な保育の実施を図るため、永和保育園を行政財産から普通財産に変更し、令和5年4月から運営を移管する相手法人に無償譲渡します。

**Q** 民間保育園になると今後の管理は。

**A** どの保育園も、法令等の基準に照らして適正な運営がなされているかを県が定期的に監査し、指導している。

**Q** 今後、園舎の修繕等は。

**A** 民間保育園では、大規模修繕や増改築をする場合、補助対象経費の4分の3の補助金を用いて整備する。

**Q** 無償譲渡とした理由は。

**A** 民間移管審査委員会で、保護者が安心できる形で民間移管していく必要があるとの意見があったことも踏まえ、無償で譲渡することにした。

**Q** 遊具やバス等も譲渡されるのか。

**A** バスも含めて物品については条例に基づき無償で譲渡する予定。



▲民間移管される永和保育園

## コロナ支援策で補正予算

### 令和4年10月まで 学校給食を無償化

新型コロナウイルス感染症対策における市民生活の維持、回復のための支援策として、子育て世代への負担を軽減します。

1億2408万3千円

**Q** 10月までに区切った理由は。

**A** 令和3年度と同等の期間とした。

**Q** 夏休みがあるので7カ月になっていいのか。10月以降、さらに延長する考えは。

**A** 夏休みのためだ。10月以降は、終了時点における新型コロナウイルス感染症対策を含めた社会の情勢などを判断しなければならぬ。現時点では、延長の考えはない。

### 令和4年6月上旬に プレミアム商品券を発行

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内店舗及び市民生活を応援し、地域経済の活性化と個人消費を喚起します。

1億1140万円

**Q** 購入方法は。日曜日も営業している文化会館や公民館などで購入できないか。

**A** 先回と同様に、愛西市商工会へ事業を委託し、市内の郵便局で商品券を販売する予定。商品券を適切で安全な状態で管理するために、公民館等での販売は考えていない。

**Q** 誰かが代わって購入をすることは、認める運用をしてきたのか。郵送で購入できないか。

**A** 窓口で本人確認は行っていないと聞いています。商工会にそういう要望があることは伝える。



▲昨年度発行された商品券

第2次総合計画の中間見直し

後半4年間の後期基本計画を策定する必要があるため、中間の見直しを行います。

**Q** 後期基本計画の策定のメンバーは。

**A** 各課のグループ長で構成するワーキングチームで作業を行い、部長職で構成する策定委員会で検討を進めた。

**Q** 持続可能な地域づくりの推進とは。

**A** 地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを強化する。

**Q** 次世代通信網、データ活用推進とは具体的にどのような策か。

**A** 次世代通信網を活用した行政窓口のスマート化の取り組みを想定している。

**Q** 後期計画を作るにあたり、令和3年度に調査分析を行ったが、どのような内容か。

**A** 市民の意識アンケートの上、調査分析を行った。



▲第2次愛西市総合計画後期基本計画

**佐屋・立田地区の農業集落排水使用料を水道料金と併せて徴収**

令和5年6月1日から、海部南部水道企業団給水区域内の農業集落排水使用料(以下、使用料とする)の徴収などを企業団に委託します。そのため、使用料は、水道料金と併せて徴収されます。

**Q** 対象となる戸数は。

**A** 約4500戸分を予定している。

**Q** 費用対効果は。

**A** 令和5年度以降は、使用料徴収事務手数料に約1160万円、人件費及び納付書発送に係る委託料等が約1360万円軽減され、毎年約200万円の削減を図ることが見込まれる。

**Q** 今後の進め方は。

**A** 令和4年度は海部南部水道企業団のシステム改修と対象者から同意書をもらう作業に取りかかる。令和5年度は4月5月分の使用料を6月から水道料金と併せて徴収する。

**Q** 市民への影響は。

**A** 水道料金と使用料を併せて請求することにより、一度の支払いが多くなる。広報紙とホームページで周知する。また対象者へは通知文を郵送する。

**Q** 滞納の管理は。

**A** 滞納管理は市が行うため、委託業務には含まれていない。徴収事務には、使用料の督促に関する業務を含むが、督促未納者に対する滞納整理は除いている。

討論

令和4年度一般会計予算

賛成

先を見据えた予算

予算編成内容は、喫緊に対応しなければならぬ事業と10年先、20年先の愛西市を見据えた事業のバランスが見極められている。人口減少・少子高齢化社会への対応、持続可能な市内の産業の活性化、佐屋駅の周辺整備、道の駅「立田ふれあいの里」の再整備など、市が取り組まなければならない事業に対して的確に予算が配分されている。

反対

福祉を優先せよ

今後物価が上がることを考えられ、厳しい生活が待ち受けているのではないか。道の駅の産直施設部分は古くなり改修は賛成だが都市公園には、集客予想が明らかでなく、市民の血税の支出は認められない。福祉を優先的に進めるべきだ。企業誘致で工業団地の進め方やマイナンバーカードの保険証の推進は問題だ。

◆◆決議◆◆

今定例会で次の決議が採択されました。  
▼ロシアのウクライナ侵攻についての決議

令和4年3月定例会及び第2回臨時会  
議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成  
●：反対

会 派	新生愛西クラブ										日本共産党 愛西市議団		あいさい クラブ		公明党 あいさい		無会派	無会派	
	審議結果	鬼頭勝治	杉村義仁	島田浩	神田康史	鷺野聡明	近藤武	佐藤信男	原裕司	石崎誠子	河合克平	真野和久	加藤敏彦	山岡幹雄	大宮吉満	竹村仁司	高松幸雄	吉川三津子	馬淵紀明
3月定例会議案																			
愛西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正について※1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
第2次愛西市総合計画後期基本計画の策定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和3年度愛西市一般会計補正予算(第13号)	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和4年度愛西市一般会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和4年度愛西市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和4年度愛西市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和4年度愛西市介護保険特別会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和4年度愛西市水道事業会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○
令和4年度愛西市下水道事業会計予算	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
愛西市議会の正常化を求める請願書	不	●	●	議	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●

※1 特別多数決議につき、議長も採択に加わっております。

会 派	新生愛西クラブ										公明党 あいさい		日本共産党 愛西市議団		無会派	無会派	無会派	無会派	
	審議結果	近藤武	原裕司	鬼頭勝治	杉村義仁	神田康史	佐藤信男	石崎誠子	角田龍仁	中村文武	佐藤旭浩	高松幸雄	竹村仁司	河合克平	真野和久	吉川三津子	山岡幹雄	馬淵紀明	山田門左衛門
第2回臨時会議案																			
専決処分事項の承認について(愛西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○

※審議結果の「可」は可決、「不」は不採択、「承」は承認です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。



# 愛西市議会 政治倫理審査会より

## 議長より口頭注意

愛西市議会議員政治倫理条例第4条第1項第1号及び同条例第6条に基づき、令和4年1月21日から、5回にわたり吉川三津子議員を審査請求対象とする政治倫理審査会が行われました。

第1回審査会では、議会事務局より審査会の設置や審査結果の措置、審査請求の経緯などについて説明がされました。

第2回審査会にて審査請求代表者からの補足説明とそれに対する質疑応答が行われ、第3回審査会では審査請求対象者から該当条項それぞれに対する陳述及び弁明とそれに対する質疑応答が行わ

れました。これらを受けて、第4回審査会では審査請求の対象となる事由を精査しました。該当条項それぞれに対し、条例に違反すると考えるかなど委員の意見交換が行われ、途中、傍聴していた審査請求対象者から一部弁明も行われました。

第5回審査会では報告書審査会長(案)を元に審査結果の内容を決定し、愛西市議会議員政治倫理条例第4条第1項第1号及び同条例第6条の違反の有無に関し議長の判断に委ねることとしました。

附帯意見と各回の要点記録を報告書に添付し、2月25日に審査会長より議長へ提出しました。報告書を受け、3月4日に議会運営委員会が開

催されました。議長の判断が示され、「慎重に審査を進めていただいたと思いが、疑わしい部分への確たる証拠も見出せなかつたのも事実のようであり、結果、口頭注意が相当と判断した」という内容でした。議会運営委員会は議長による「口頭注意」という吉川三津子議員への措置について了承しました。

## 審査結果報告書

令和3年7月に発行された市民団体のチラシの連絡先について、8月6日の全員協議会でわかりませんと答えたと

令和4年2月10日の審査会において、当時はおろからないと答えたが、今は誰かを知っていると回答している。

議会公式の場である全員協議会の発言については、事後においても、自身が誤りと気づいた時点で速やかに訂正すべきであり、議員のこうした対応は不誠実であった。条例第4条に規定する、市民の代表者として品位と名誉を損なう行為に抵触する部分があった。

○NPO法人の事業で報酬を受領したこと。NPO法人が指定管理者になっている児童館のトイレ改

修要望を平成30年6月の一般質問で取り上げたことと、議員がNPO法人の経営に実質的に携わっているのではないかという点

審査の過程において、議員は、自身が法令上NPO法人の経営に関われないことを主張した。

しかしながら、議員は、令和3年12月8日の一般質問において、指定管理者の活動に主体的に関わっているかのような発言を議会の本会議の場で行なっている。また、議員は、指定管理者の活動について自身のSNSを通じて市民に広く発信している。加えて、議員と指定管理者との関係を疑わせる内容が記載された、市民からの匿名の投書が議会に届いたこともあった。

確かに当該NPO法人の役員になっていないことは確認できた。こうした

議員の一連の言動はあるが、市の指定管理者の経営に実質的に携わっているとは判断できなかった。

政治倫理条例の趣旨は、議員自身が襟を正し、議員としての品格や倫理を保ち、市民全体の利益を守るために制定されたものである。この点、市の特定の指定管理者と議員の関わりについても、市民から疑惑を持たれることのないような慎重な行動を本来取るべきであった。

## 結論

以上から、本審査請求については、

- ① 議会の公式の場における発言を訂正しなかったこと
- ② 市の特定の指定管理者との関係性を市民から疑われるような言動を行ったこと

について報告し、議長に委ねる。

# 市政を問う



## 12議員が一般質問

### 一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり40分です。

●定例会第2日目および第3日目に、12人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

### 3月7日

#### 吉川 三津子 議員(P11)

- ◆福祉を担う市民団体の育成を
- ◆公共下水道区域見直しによる影響は

#### 山岡 幹雄 議員(P12)

- ◆報告書3回提出に市のチェック体制は
- ◆職場のパワーハラスメント

#### 原 裕司 議員(P13)

- ◆生まれ変わる立田総合運動場 活用方法は

#### 高松 幸雄 議員(P14)

- ◆がん患者のアピランスケアに助成を
- ◆愛西市公立保育園はどうなるのか

#### 真野 和久 議員(P15)

- ◆津島北高校を指定緊急避難場所に
- ◆統廃合より小規模校に支援の充実を

#### 石崎 誠子 議員(P16)

- ◆要支援者の避難に対する市民への周知は

### 3月8日

#### 竹村 仁司 議員(P17)

- ◆特定健診受診率向上の取り組みは

#### 河合 克平 議員(P18)

- ◆県内で高い水道代の値下げを求める
- ◆老朽化校舎の改築計画策定を求める

#### 加藤 敏彦 議員(P19)

- ◆新型コロナ 定期的な検査の考えは
- ◆福祉タクシーの利用先制限なくして

#### 馬淵 紀明 議員(P20)

- ◆自主財源確保の取り組みは
- ◆子育て・教育への考えは

#### 佐藤 信男 議員(P21)

- ◆今後、市や公立保育所の目指すべき姿は
- ◆人材育成の目的及び職員像は

#### 近藤 武 議員(P22)

- ◆やさしいまちづくりへの取り組みは
- ◆消防団運営への支援は

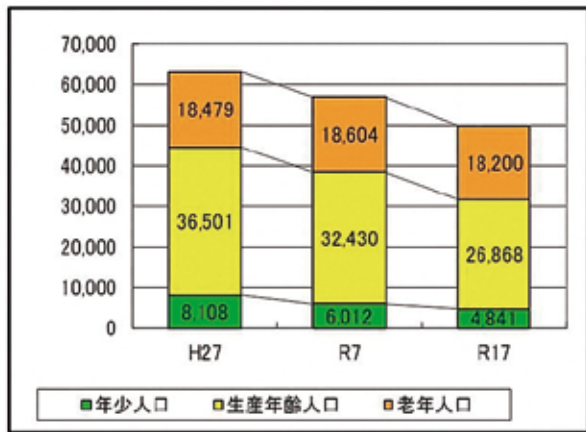


# 福祉を担う 市民団体の育成を

吉川三津子議員

研修会・情報提供などの育成支援をする  
保険福祉部長

■ 愛西市の人口予測 (小中学校適正規模適正配置等検証委員会資料より)



▲ 増える高齢者、減る支える側

**問** 県の方針もあり、愛西市では、西川端、大野山、草平、見越、日置、内佐屋、大井、大野町など約3割の世帯が公共下水道区域から除外されることになった。  
今後の進め方は。  
**答** 運営管理を見据えた整備計画を立て直す。

## 公共下水道区域 見直しによる 影響は

**問** 一つの町で、公共下水道区域と区域外が混在する地域も出てくる。地元説明会は。  
**答** 事業開始地域について、説明会を開催する。

**問** 生産者人口が減り、支える側も支えられる側も厳しくなる。85歳以上の高齢者が増え、支える人口(生産者人口)が減少する厳しい状況だ。地域住民、行政、事業者、NPO等が協力して地域を作る「第2次地域福祉計画」の課題は。  
**答** 高齢者単身世帯・生活困窮者世帯の増加、自殺、孤独死、ひきこもり、ダブルケアや8050問題、虐待、ヤングケア

**問** 包括的相談体制とは。  
**答** 介護や障害、子育てなど、世帯の複合的課題を解決するための相談窓口設置が必要だ。  
**問** ラーなど、地域課題は多様化、複雑化している。「包括的な相談体制」、「地域住民が活躍するしくみ」などが新たな課題だ。

**問** 市民に福祉に関わってもらうことが重要だ。具体的な協働事例は。  
**答** マンパワー活用として、「シルバー人材センター」と「ファミリー・サポート・センター」だ。  
**問** 福祉を担う市民団体育成も重要では。  
**答** 研修開催、情報提供、ネットワーク化などを進め、団体育成支援を行う。

**問** 区域が削減されたが、事業費はどう変わるか。  
**答** 総事業費は、約360億円から約270億円となる。起債は、令和12年度まで借入れ予定の償還と利息分を含めて約200億円になる。  
**問** 200億のうち、償還が終わった額は。  
**答** 28億4523万円だ。

# 報告書3回提出に 市のチェック体制は

山岡 幹雄議員

担当課が責任をもってチェックする  
健康子ども部長



▲間違った決算書の再提出書類

**問** 市がNPO法人に依頼している団体名は。

**答** 「NPO法人れんこん村のわくわくネットワーク」「NPO法人愛西児童老人ふれあい館」「NPO法人まちづくり津島」の3団体だ。

**問** 業務委託のNPO法人役員の異動届を提出させているか。

**答** 異動届はない。

**問** 市の事業を行っている団体は、実施内容を正確に報告する責任があるのでは。

**答** 担当課が責任を持ってチェックする。

**問** 決算報告書を3回も提出させている。内部でチェックを行えないNPO法人に対する管理体制は。

**答** 報告書の誤りに関しては、事業者に正しい内容の報告書を再提出してもらっている。

## 職場のパワーハラスメント

**問** 職員が上司や議員にパワーハラを受けた報告は何件、退職した職員は何名か。

**答** 職員のパワーハラの件数は、平成31年4月1日以降で4件の報告。パワーハラを理由とする退職者は把握していない。

**問** 長期休暇の職員は、9名。

**問** パワーハラスメントの關係のアンケートの実施は。

**答** パワーハラの相談については本人からの申し出もあり、周囲の職員から報告があるケースもある。相談に関しては秘密を厳守しているが、実際には相談しづらい場合もある。実態把握の手法について検討を進める。



# 生まれ変わる立田総合運動場 活用方法は

原 裕司議員

新たな健康づくりの活動拠点を目指す  
教育部長



▲大会を楽しむ社会人(立田総合運動場)

**問** 社会体育施設における総合運動場の目的や役割は。

**答** 市民の体力及び健康を増進し、スポーツの普及を図ることを目的としている。

**問** 総合運動場の整備状況と利用団体の協力は。

**答** 例えば、佐織総合運動場では、年6回の整備と、年1回の黒土等の搬入や転圧を行っている。また、土入れ時にはス

ポーツ協会加盟団体の協力がある。

立田総合運動場やスポーツセンターは、指定管理者により整備を行っている。

**問** 親水公園総合運動場等における利用者からの改善や修繕要望の反映は。

**答** スポーツ協会が取りまとめた各団体や指定管理者からの意見等を市が確認し、総合的に判断・調整し反映している。

**問** 立田総合運動場は、

公益財団法人愛知県サッカー協会と契約を締結し、令和5年4月1日から、「愛知県フットボールセンター愛西」に生まれ変わる。

運動場を活用し立田、八開地区体育大会や立田納涼祭り、八開納涼大会など開催されているが、参加者の減少や大会運営の担い手不足も課題となっ

**答** 公園や施設の利用者、地域住民、学校、商店、企業などと共同し、イベントや教室などを企画・運営し、スポーツを中心とした地域コミュニティが形成されることで、市民の健康づくりなどの新たな活動拠点となることを目指す。

てきている。人口減少が進むにつれ地域間の交流が必要ではないか。このような大会を合同で開催する事で、地域間の人と人との交流が生まれる。現在、学校教育において、学校の統廃合の課題もある。スポーツを通じて地域間のコミュニティを推進させることで、絆が生まれ交流が深まれば、この課題も解決できるのではないかと考える。今後、立田総合運動場は、どのような形で市民に活用されるのか。

# がん患者の アピアランスケアに助成を

高松 幸雄議員



近隣の動向を見極めながら検討する

健康子ども部長

**問** アピアランスケアとは外見、身だしなみを整える行為を支援することを意味し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減する役目を果たしている。

**答** 県は、がん患者が医療用ウィッグや乳房補正具を購入する際に、費用の一部を補助する市町村に対して財政支援を始めた。補助制度を設けた市町村に住む患者は、かかった費用のうち半額（上限は2万円）の補助を受けられる。対象となるのは治療で脱毛した際に頭部につける医療用のウィッグと、乳房を切除した患者が装着する補正下着、補正パッド、人工乳房の購入費になるが、現在、助成している自治体はあるか。

**答** 県内では医療用ウィッグの購入助成を名古屋市と岡崎市が実施している。人工乳房の購入助成に関しては、実施している自治体はない。

**問** 近隣市町村の状況と、本市としての考えは。

**答** 津島市、稲沢市は助成を実施する予定。あま市、弥富市、大治町、蟹江町、飛島村は検討中。本市としても、近隣市町村の動向を見極めながら助成を検討していく。

**問** 市長の考えは。

**答** 当初予算に間に合わなかったため、数字的にどれぐらいの予算が必要であるか等を積算して検討していく。

**愛西市公立保育園はどうなるのか**

**問** 佐屋中央保育園の園舎修繕工事はどのような工事を行ったか。

**答** 乳児室の改修、トイレ改修、新たに敷地南西に出入口を設けて南側駐車場から園内へのスムーズな移動が可能となった。

**問** 佐屋北保育園の跡地の利用については何か決まっていることはあるか。

**答** 現在、庁内関係課で、どのようなスケジュールで進められるかを検討している。

**問** 永和保育園は民間移管するが、メリットは。

**答** 民間になると保育サービスが充実することや、保護者の選択肢を広げるメリットが大きい。



▲廃園になる佐屋北保育園



# 津島北高校を 指定緊急避難場所に

真野 和久 議員

活用できるよう働きかけていきたい  
企画政策部長



▲津島北高等学校を避難場所に

**問** 本市は濃尾平野の下流部の低い平地にあり、風水害による浸水の危険が高い地域だ。浸水に対応した指定緊急避難場所の設置状況は。

**答** 市内の指定緊急避難場所76カ所中、洪水災害に対応しているのは72カ所。

**問** 永和地区のヘリポートについて、指定緊急避難場所としての活用は。

**答** 指定は考えていない。

**問** 浸水や津波の危険がある場合、「近くの住民が避難できないのか」との声がある。自主的に避難ができないか。

**答** 逃げ遅れたような場合、命を守る行動として一時的に避難するのを拒むものではない。

**問** 佐織地区の町方町地内では、「高い建物がない」という声が地元からよく寄せられる。津島北高校を指定緊急避難場所

**問** 学校規模に関わらず、少人数学級など教育環境や教育内容が変化することで、行政の学校に対する支援が求められている。中でも、小規模校が置かれていた状況として、教員が少ないための負担や教科担任などの問題、学校行事などへの保護者の負担の課題などがある。維持・存続のため特別な対応、支援の充実が必要では。

**統廃合より  
小規模校に支援の  
充実を**

**答** 学校規模に関わらず全ての学校で適切な教育が行われるよう取り組んでいきたい。

**問** 科目によって専任教員の補充が困難だが、常勤や非常勤の講師などを活用する考えはないか。

**答** 専任教員として非常勤講師を補充する予定はない。

**問** 小規模のよさを生かした特色ある学校経営を進める場合に、市内全域から児童・生徒を集められる小規模特認校制度を採用しては。

**答** 採用の検討を進める予定はない。

# 要支援者の避難に対する 市民への周知は

石崎 誠子議員



周知も含め啓発の充実に努めていきたい

企画政策部長



▲「避難行動要支援者名簿」平時から活用を

**問** 避難行動要支援者の個別避難計画作成が市町村の努力義務となったが、現在の作成状況は。

**答** 作成対象者は、災害時に手助けが必要な方で、ひとり暮らし高齢者、要介護3以上の在宅者、身体障害者1・2級の方、療育手帳A判定の方、精神障害者保健福祉手帳1級の方など、令和4年2月末現在、3481人。

**問** 計画作成にあたり、モデル地区を選定するなど、具体的な進め方は。

**答** 自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会、福祉事業者などの協力を得て進めていきたい。

そのうち、今年度、モデルケースとして10件程度を目標に、個々の状況や内容等を検討し、年度末完成予定で作業を進めている。

**問** 避難行動要支援者に対する支援策は、

自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会、福祉事業者などの協力を得て進めていきたい。

**問** 個別避難計画では避難先を指定するため、福祉避難所への直接避難の仕組みと受入れ体制の整備も併せて検討する必要はあると考えるが、現状と課題、その対策は。

**答** 現在、福祉避難所として、高齢者施設、障害者施設、子育て施設など30カ所と協定を結んでいるが、マニュアルの見直し、再協定などを行う必要がある。令和4年度以降、マニュアルの見直しを進めていく。

**問** 避難行動要支援者対策には、福祉と防災双方の視点や知識が必要となるが、市の体制は。

**答** 避難行動要支援者避難支援プランを作成し、関係課と連携・協力を図っていく。

**問** 避難行動要支援者の避難には、地域の支援が欠かせないことから、自主防災会で名簿の活用や訓練が重要となる。前向きな活動につながるには、避難行動要支援者や個別避難計画に対する市民の理解を深める周知が必要と考えるが、如何か。

**答** 自主防災組織や自治会等の地元の協力が重要。これまで自助と共助の重要性は啓発をしているが、個別避難計画の作成など具体的な取り組みについては十分に周知出来ていない状況。今後は、取り組み内容の周知も含め啓発の充実に努めていきたい。





# 特定健診受診率 向上の取り組みは

竹村 仁司議員

データ分析をもとに受診勧奨をしている  
保険福祉部長



▲特定健診の受診率向上

**問** 保険者努力支援制度  
に対する取り組みは。

**答** 病気の早期発見につ  
ながる特定健診の受診率  
の向上や生活習慣病予  
防・保健指導を拡充し、  
重症化予防を行っている。  
保険者努力支援制度で  
は、保険者共通指標の6  
項目と国固有指標の6  
項目の合計12項目の指標  
で評価されるが、本市は  
県下54市町村中2位の高  
評価である。

**問** 本市の特定健康診査  
事業の特徴は。

**答** 国が基本としている  
検査項目以外にも、心電  
図、腎機能検査、貧血検  
査を全員に実施し、一度  
の機会でもより丁寧な検診  
を行っている。

**問** 特定健診受診率向上  
の効果を上げるための取  
り組みは。

**答** 今年度から自己負担  
を無料とした。また、デー  
タ分析を用いた受診勧奨

事業を導入し、令和元年  
から国の補助金を活用し  
て過去の受診状況や問診  
票等を分析し、各個人の  
状況に合わせた受診勧奨  
通知書を送付する事業を  
取り入れている。

**問** 本市の受診勧奨の評  
価は。

**答** 受診勧奨事業を取り  
入れた結果、以前は40%  
前後であった受診率が、  
令和元年度では45・4%  
まで上がった。新規健診受  
診者の割合に限っては、  
全体の約6%から12%に  
増加、過去の未受診状況  
の勧奨通知が新規受診者  
の掘り起こしに有効な手  
段であった。

**答** 国が定める指標に基  
づき、順位によって支給  
額が異なる。令和3年度  
において、本市は県内2  
位で支援額は3128万  
円となった。

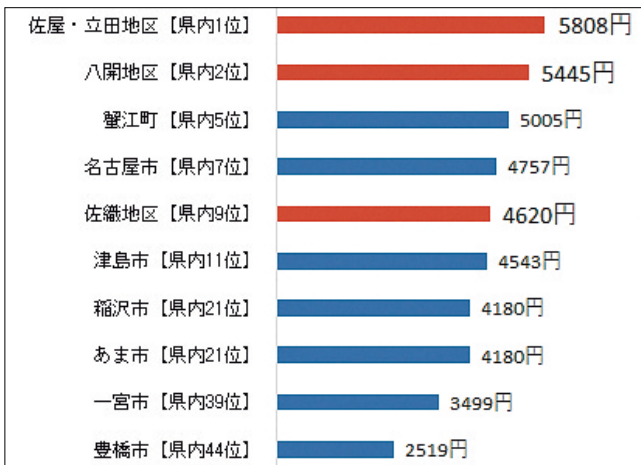
評価項目では、時代に  
合わせて対応していくこ  
とが求められる。今後も  
市民の健康の保持増進を  
第一に、補助金も活用し  
て国民健康保険の財源を  
確保していくことの両輪  
で取り組みを進めたい。

**問** 保険者努力支援制度  
も医療費の適正化に向け  
た仕組み。本市の令和3  
年度分析資料によると、  
相対的に国・県の平均よ  
りも高い。国の評価から  
の支援金の額は、また、課  
題となる点は。

# 県内で高い水道代の値下げを求める

河合 克平議員

総合的なことを勘案して取り組む  
市長



▲愛知県水道料金の状況

**問** 料金は、県内でどの位置か。  
**答** 海部南部水道企業団の料金は県下で一番高く、愛西市水道の八開地区の料金は2番目に、佐織地区の料金は9番目に高い状況だ。

を供給」とし、安価で供給することにより、人口減少に歯止めをかけられるのでは。  
**答** 今までの経緯を踏まえ、総合的なことを勘案し、取り組む。

**問** 3つの水道があり、不平等感がある。住んでいる場所により違う料金で、かつ県内で高い水道代を負担している。水道法は、「豊富で低廉な水

## 老朽化校舎の改築計画策定を求める

**問** 老朽化検討委員会による18校の校舎の評価結果は。

**答** 改築計画の策定が必要なのは、佐屋小、立田南部小、立田北部小、立田屋中、立田中の5校。改築あるいは改修計画の策定は、永和小、北河田小、勝幡小、永和中の4校だ。



▲雨漏りする学校 (佐屋中学校)

**問** 放置は問題だ。どう計画するのか。  
**答** 早急に計画策定を進めていきたい。



# 新型コロナ 定期的な検査の考えは

加藤 敏彦議員

市が定期的を実施することは難しい  
健康子ども部長

## 新型コロナの感染状況

(2022年3月7日現在、愛西市)

死亡者:40人  
感染者数:2780人  
(12月2人、1月381人、2月1195人)  
市職員:39名  
小中学校:  
児童生徒357人、教職員数36人  
(学年閉鎖17件、学級閉鎖11件)  
高齢者・障害者施設:31施設220人  
保育園や幼稚園:延べ48園246名  
児童館・児童クラブ:延べ19館37名

▲本市のこれまでの感染状況

**問** 岸田政権は、ワクチンがあっても高齢者の3回目のワクチン接種をしない、検査キットの準備も十分できないなど対応が後手後手になった結果「第6波」の感染拡大を引き起こした。  
日本共産党愛西市議団は、市長に「新型コロナウィルスから市民のいのちを守るための緊急対応を求める申し入れ」を行ったが、本市の感染状況や亡くなった方は何人か。

**答** 昨年12月は2人の感染者であったのが、1月は381人、2月は1195人だ。総合斎苑にて火葬のあった件数は、累計で3月7日現在40人だ。  
**問** 集団感染を防ぐため定期的なコロナ検査(抗原検査やPCR検査)についてのどのようになっているか。  
**答** 事業として定期的の実施することは難しい。

**問** 給食費の無償化、水道代の減免、米作臨時給付金など、困っている人へ給付金など、市民への支援について、市はどのように考えているか。  
**答** 新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し効果的な事業を検討、展開していきたい。

## 福祉タクシーの利用先制限なくして

**問** 日本共産党愛西市議団は「高齢者福祉タクシーの利用先制限をなくす請願署名」を行っており、連日署名が寄せられ、649筆を市長に提出した。高齢者福祉タクシーの利用先制限をなくすことは、高齢者にとって切実な要求になっている。新年度から利用制限をなくし高齢者が必要なくろへ行けるように福祉タクシーを生活支援として利

## その他の質問

・永和駅周辺の整備は

**答** 利用範囲を広げて欲しいとの意見も聞いているので、現在の運用を継続しながら、検討する。

# 自主財源確保の取り組みは

馬淵 紀明議員

ふるさと納税や企業誘致の推進に取り組む  
総務部長



**問** 本市の財政力指数は、直近3年間で県下38市中何番目か。

**答** 令和元年度から令和3年度まで、37番目となっている。

**問** 近隣市の財政力指数はいくつか。

**答** 令和3年度の数値で、稲沢市0.85、津島市0.71、あま市0.69、弥富市0.93、愛西市0.61。

**問** 財政力指数が低く、自主財源に余裕があるとはいえない。何か具体的な自主財源確保の取り組みを考えているのか。

**答** ふるさと応援寄附金事業で、返礼品を通じ市の特産品を効果的にPRし、寄附額の増額を見込む。また、弥富インター北西部で進めている企業用地創出事業では、企業誘致を進めることで税収の増も期待できると思う。

子育て・教育への考えは

**問** 本市の子育て・教育への予算配分は、どのような考えか。また今後の方針は。

**答** 予算全体に占める構成比率は、近隣市とあまり差はないが、18歳未満の児童1人当たりに必要な児童福祉費や教育費の経費は、近隣市に比べ高くなっている。

今後も引き続き子育て支援の充実、教育環境の整備、充実を図るため、事業に必要な予算を配分していく。

**問** 子育てしやすいまち、子育て世代に選ばれるまちになるためには、子育て・教育への投資、また学校教育環境においての安全対策や子供の体力向上、どれも積極的に取り組んでいくことが必要であると思うが、市長の考



▲弥富インター北西部で進めている企業用地周辺

えは。

**答** 次世代を担う子供たちのために我々に何ができるかをしっかりと考えて、まちづくりを生かしていかなければならないと思っている。

市として、今まで子育て世代に対する様々な支援を行ってきた。これからも持続可能な愛西市を見据えながら、各事業を様々な方向で検討し進めていきたいと思っている。



# 今後、市や公立保育所の 目指すべき姿は

佐藤 信男議員

市全体の保育水準の向上を図ることだ  
健康子ども部長



▲民営化される永和保育園

**問** 保育所民営化のメリットは。

**答** 保護者の就労形態や生活スタイルが多様化し、多様なニーズに迅速に対応することが求められている。民間の活力の活用は、効率的かつ効果的な保育所運営を可能とし、より豊かな保育環境を推進する上で大変に有意義だ。

**問** 永和保育園の民営化の準備、手順は。

**答** 平成28年度に「愛西市公立保育所の運営等に  
関する方針及びプラン」で永和保育園を民営化する方針が位置づけられた。その後、地元説明会を開催。平成29・30年度に、保護者に民営化の説明会開催。令和元年度は引き続き保育を実施、令和2年度からは指定管理者制度を導入。今年度は、永和保育園民間移管審査委員会を3回開催し、適切な保育運営をされている

かを審査した。

**問** 今後の市や公立保育所の目指すべき姿は。

**答** 地域の保育機能を高める取り組みの中心的役割を担い、保育事業を的確に捉え市全体の保育水準の向上を図ることだ。また、行政機関としてのネットワークを生かし、児童相談所や学校等の行政機関と連携し、地域に即した子育て支援を実施することも必要だ。

員、気遣いができる職員だ。

**問** 接遇研修は、どんなことをするのか。また、市民からの評価は。

**答** 受講者の実際の職場での窓口対応や電話対応を講師が確認し、その後フィードバックを実施。また、各職員が市民に対する対応を重要な業務と認識し実施しているが、職員の対応に関する意見をもらうことがある。

## 人材育成の目的 及び職員像は

**問** 人材育成の目的及び職員像は。

**答** 愛西市人材育成基本方針を定め、将来像を掲げている。自ら考え、自ら行動する職員、チャレンジ精神あふれる職員、市民と協働する職員、行政経営感覚を持つ職員、政策形成能力を有する職

# やさしいまちづくりへの 取り組みは

近藤 武議員



できるところから対応していく  
市長



▲配布予定の災害バンダナ（見本）とヘルプマーク

**問** ヘルプマークの現状は。また、日常生活に不安のある方から意見・要望を聞く機会はあるのか。

**答** 配布実績は、令和2年度264個。障害者団体などから要望書や意見を聞く機会を持っている。

**問** 要望への対応は。

**答** 海部津島聴覚障害者協会からの要望には、来年度、ライオンズクラブの協力を得て、災害時に配慮が必要であること

を知らせる「災害バンドナ」を作成し、配布予定。また、自立と社会参加の実現を目指し、全国手話言語市区長会への入会に向けて、情報収集に努めている。

**問** 人にやさしいまちづくりへの取り組みや考え方は。

**答** 実情を踏まえ、意見交換などをしながら民間の力も活用し、できるところから対応していく。

## 消防団運営への 支援は



▲消防団 活動風景

**問** ふるさと納税や寄附金を活用し、更なる支援は可能か。

**答** 新規事業を事業化するには、必要性や有効性を十分に検証し、進める必要がある。

**問** 消防団負担金の用途は。

**答** 団員の資格取得、詰所運営に充てることを想定している。

# 市議会だよりの『イキイキコーナー』の 掲載を募集します

市議会では、年4回(5月、8月、11月、2月)  
愛西市議会だよりを発行しています。

開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる  
「愛西市議会だより」にするため、写真掲載とコメントを募集します。

## 募集する写真等

小中高生などを対象としたサークル活動・スポーツ団体などで、  
活動内容を撮影した写真と活動内容に対するコメント。

## 応募方法

必要事項を記載し、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

## 必要事項

- 1.代表者住所
- 2.代表者氏名
- 3.電話番号
- 4.団体名
- 5.活動状況

## 選考・採用

- ・市議会広報特別委員会で選考し、  
取材したうえで、掲載いたします。

## お問い合わせ・送付先

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)  
〈住所〉〒496-8555愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141  
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

## 応募上の条件・注意

- ・活動中に撮影されたもので、撮影者自身に著作権があり未発表・オリジナル作品に限ります。
- ・被写体が人ですので、必ず被写体本人(未成年者の場合は保護者)の承諾を得てください。
- ・著作権・肖像権に関する問題の責任については、市議会では一切負いません。
- ・応募いただいた写真の返却は原則行いません。
- ・応募にかかる一切の費用は応募者負担といたします。
- ・応募および採用に対する賞品等の贈呈は行いません。
- ・採用作品の著作権は、市議会に帰属します。
- ・編集上トリミングを行う場合があります。
- ・詳細については議会事務局へご連絡ください。

第25回取材しました!  
愛西市の偉人⑦

## 「三つ輪石けん」の開発者 三輪善兵衛(小茂井町)

Q いつ頃の人?

A 文政年間(1818~1830)の事業家。

Q 幼いころは?

A 小茂井村に生まれる。父の代に名古屋橋町へ移り住み商売を営む。

Q 青年時代は?

A 家を相続して上京。「まるみや」という屋号で、家庭用品や日用雑貨等を扱い営業していた。明治初年には石鹸を開発する。

Q どんな石鹸を作ったの?

A 自分の姓「三輪」にちなみ、「三つ輪石けん」として売り出したところ、品質の良さ等から評判となり、全国に販売された。現在販売されている薬用石けんにはこの「三つ輪石けん」の流れを組む商品もある。



参考『新編立田村史通史』愛西市八開郷土資料室  
取材協力 石田泰弘(生涯学習課長兼佐織図書館長)

# 議会広報新メンバー

私たちが編集していきます



新しい  
取り組みを  
進めます!

わかりやすい  
紙面づくりに  
努めます!

身近に感じる  
紙面づくりを  
していきます!

楽しい  
紙面づくりを  
していきます!

皆さまの  
ご意見をお待ち  
しています!

取材に  
ご協力をお願い  
します!

## 令和4年6月定例会の開催予定

5月30日(月)	本会議(招集日)議案上程
6月 7日(火)	本会議(第2日)一般質問
6月 8日(水)	本会議(第3日)一般質問
6月13日(月)	本会議(第4日)議案質疑
6月15日(水)	総務文教委員会
6月16日(木)	建設福祉委員会
6月23日(木)	本会議(最終日)討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)	
→	6月13日(月)午前10時～午後7時～
→	6月14日(火)午前10時～午後7時～

- 本会議及び常任委員会は午前9時30分から開催します。招集日は午後1時30分からの開催となります。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

### 編集後記

いつも「議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。

今号は、市議会議員選挙後初めての発行で、改選前後の委員が関わり、作成しました。

新しい委員会には、新人議員が3名加わりました。これまでになかった発想力を発揮してもらい、市民のみなさんに、より読みやすく、親しみやすいものにしていきます。

みなさんには、「議会だより」へのご意見やご提案などをお寄せいただきますようお願いいたします。

前委員	佐藤 信男	竹村 仁司	吉川三津子	山岡 幹雄	佐藤 旭浩	中村 文武	山田門左衛門	委員	高松 幸雄	副委員長	原 裕司	委員長	真野 和久	(真野 和久 記)
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	----	-------	------	------	-----	-------	-----------